

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	道路改築事業		路河川名等	(国)141号		
事業毎の番号	1	市町村名	南牧村	箇所名(ふりがな)	海尻(うみじり)	
事業目的	本路線は佐久地域と山梨県を結ぶ唯一の幹線道路として地域間の物流を担っており、大型車交通量が非常に多い状況にある。一方で、道路幅員は旧規格のため、大型車両のすれ違いが困難な状況であり、交通事故が多発している。また、歩道の未整備区間となっており、歩行者の通行に支障を来している。このため、当該区間の拡幅改良とともに歩道設置を行い、交通環境の改善、安全な歩行者空間の確保を図るものである。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路) 広域道路網マスタープラン					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 8,000台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.6	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=550m W= 6.5 (8.0~10.25)m		520,000	286,000	210,600 23,400	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 7.9億円 大型自動車事故防止 H20~H29.3:8件				
	間接的効果(定量的・定性的)	物流の効率化 観光振興				
評価の視点	必要性	○計画交通量: 8,000台/日 ○代替道路の有無: なし ○医療・福祉・教育施設との連携: 佐久総合病院小海分院との連携ができる道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス: 海尻駅1次アクセス ○地域の活性化: 野辺山高原、清里高原等の活性化に資する、農産物(高原野菜等)の流通拠点アクセス			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合: しあわせ信州創造プラン、広域道路網マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定: 県緊急輸送路(1次)に路線指定 ○地域指定: 振興山村地域			評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C): 1.6 ○事業期間: 6年(H30~H35) ○工法等の比較検討: PIによるルート検討を実施 ○他事業との連携: なし			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数: 3件((H24~H28)、(車両相互2件、車対人1件)) ○道路環境改善: JR小海線跨線橋部前後での混雑緩和 ○歩道整備: H27.3通学路安全プログラム策定 ○道路構造: 車道幅員5.0m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有: 関係者を中心に周知(H14~PI事業説明会を開催、本事業区間についてH29.3、H29.10に地元説明会を開催) ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 合意形成が図られている ○住民との協働: 計画段階から住民参加型事業(PI)を導入しているため住民の関与は高いといえる。			評価	A
	部局意見	事業の必要性、重要性、効率性及び緊急性が高いため、平成30年度から新規事業化した。		採択状況	○ A	
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。					

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

標準横断面

平面図

全体計画 L= 550.0m W= 6.5 (10.25)m

神川橋 L=13.5m W=6.6m 昭和36年架設

南牧村海ノ口(役場)
交通量 7,841台/日 (H27道路交通調査)

×交通事故 9年間(H20~H28) 計8件
内訳: 車両相互事故(H20:2件, H21:1件, H23:2件, H27:1件, H28:2)

交通事故発生状況

①

至 山梨県

②

H20.2.13正面衝突事故

至 山梨県

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は佐久地域と山梨県を結ぶ唯一の幹線道路として地域間の物流を担っており、大型車交通量が非常に多い状況にある。一方で、道路幅員は旧規格のため、大型車両のすれ違いが困難な箇所が存在し、事故多発区間でもある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該箇所は部分的に幅員が狭く、一部大型車同士のすれ違いが困難な箇所が存在し、事故多発区間でもある。このため、毎年南牧村から拡幅改良の要望がある。また、平成14年度にPIによる道路改良計画の検討を実施しており、隣接区間では交通安全事業により歩道設置を進め、平成28年度に完了したが、本事業区間については改良されておらず、地元からの要望は強い。
③事業説明等の経緯	本事業区間及びH28完了の交通安全事業実施区間について、H14にPIによるルート検討がされた経過がある。本事業区間については、南牧村役場からは早期の事業化の要望があり、平成29年3月に事業化に向けた地元説明会を実施した。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	沿道には住宅が立ち並んでおり、歩車道分離を進めることにより、沿道の安全・住環境に配慮した計画を進めたい。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、高原野菜等農産物の物流拠点アクセス向上に寄与するものと期待される
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 02' 16" 東経:E 138° 28' 33"

事業概要説明図表

事業周辺環境